



Daito Chuo Osaka Japan

# 第2660地区 大東中央ロータリークラブ

## \*事務所

〒574-0046  
大東市赤井1-2-10-4F  
TEL : 072-872-6349  
FAX : 072-872-6552  
E-mail : dc-rc@eagle.ocn.ne.jp  
ホームページ http://www.dcrc31477.com/



## \*例会

毎週水曜日 18:30~19:30  
大東市立市民会館  
〒574-0076 大東市曙町4-6  
TEL : 072-871-0001  
FAX : 072-871-0004

■会長:北田宗男 ■幹事:大東雅代 ■会報委員長:長崎弘芳

R I 会長 イアンH.S.ライズリー



ROTARY:  
MAKING A  
DIFFERENCE

2017~2018年度

国際ロータリー・テーマ

ロータリー:変化をもたらす

### 四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
1. 真実かどうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情を深めるか
  4. みんなのためになるかどうか

## 第 984 回 例会 平成 29 年 9 月 27 日

開会点鐘 : 18:30  
 ロータリーソング : 「 奉仕の理想 」  
 来客紹介 : 親睦活動委員長  
 会長の時間 : 会長  
 諸報告 : 幹事、各委員長、出席報告、ニコニコ箱  
 卓話 : 「モンゴル紹介」 講師: 杉ヨロ氏 奏者: マハル・サカゲル氏  
 閉会点鐘 : 19:30 担当: 川西 津音夫 会員

### 次週のお知らせ

卓話 : 「 経済と地域社会の発展月間に因んで 」 森原 正樹社会奉仕委員長

### 9 月 13 日の例会の記録

#### 出席報告

会員数 : 27 名  
 出席者数 : 21 名  
 欠席者数 : 5 名  
 出席規定免除者数 : 1 名  
 出席率 : 80.76 %  
 8月30日 修正出席率 : 68.18 %  
 ↓  
 95.83 %

お客様

卓話講師: 地区研修委員会委員  
井川孝三様 (八尾RC)

#### お知らせ

- ・9/30(土) 米山奨学生カンセラー研修会  
サニーストンホテル江坂別館3F 富士の間 14:00~16:00 岩本
- ・10/7(土)~9(祝月) 秋のライラセミナー  
阪急ホテルパーク3F水鳥前 10/7 12:30集合 10/9 15:00現地解散 前田
- ・10/11(水) 大東市子ども会フェスティバル参加作品審査  
市民会館5F 教育委員会会議室 19:30~ 前田
- ・10/15(日) 米山奨学生レクリエーション  
宝塚大劇場(星組) 10時~17時 奨学生・田中・大和田・岩本
- ・11/3(祝金) 大東市子ども会フェスティバル  
大東市立総合文化センター 公民館視聴覚室 PM1:30~
- ・11/10(金)~11(土) 地区大会  
1日目帝国ホテル15:00~ 2日目NHKホール13:00~



## ニコニコ箱

- ・井川様を迎えての情報集会、講師、最高です！ 西垣会員
- ・井川様ようこそ卓話宜しくお願い致します。 住川会員
- ・R情報池田委員長、良いところをありがとう。 前田会員
- ・一度来たかった、嬉しいです。 青田会員
- ・素晴らしいところですね。楽しみでした。 古川会員
- ・本日、楽しみにしておりました。 白川会員

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 当日計   | ¥12,000         |
| 今期累計額 | <u>¥227,000</u> |

## ≪ 会長の時間 ≫

会長 北田 宗男

本日は、情報集会ということで素晴らしい場所を設営して頂き、池田情報委員長には手間をお掛けし、申し訳御座いませんでした。

さて今週末、大東市民祭りが開催されます。

祭と言いますと、五穀豊穰を願い地車を引き市中を練り歩くと云う形や、町興し的な内容の市民祭りがあります。そんな町興し的なところから、当クラブが実施している様な震災等でのボランティア的な要素のある奉仕関連のブースが増えて来ているように思います。

本日は、地区の研修委員会の井川孝三様より、奉仕団体の先駆けであるロータリークラブの源流のお話を聞かせ頂きます。入会年度の浅い会員の方はもとよりベテランの方にも再認識の場としたいと思います。

## ●) ) 先週の卓話 ( (●



### 「ロータリーの源流」

地区研修委員会委員  
八尾ロータリークラブ

井川 孝三 様

ロータリークラブは、1905年2月23日、鉾山技術者の画スターバス・ロアの事務所に石炭商のシルベスター・シール、洋服の仕立屋のハイラム・ショウレイ、そして弁護士のパール・ハリスの4人が集まり記念すべき第1回目の例会が開催されました。

この年日露戦争がありました。パール・ハリスは日露戦争の戦況をラジオで聞きながらロータリークラブ設立の準備をしたと聞いております。当時のシカゴは、1893年に開催されたコロンビア万国博覧会後の大不況となり多数の会社が倒産。シカゴ





の町は詐欺、横領、かっぱらいなどが横行し殺伐としておりました。そのような状況下でポール・ハリスは心温まるような仲間が欲しいということでロータリークラブを設立しました。当時のロータリーの目的は親睦と相互扶助でした。5人目のロータリアンは、ハリー・ラグルスという印刷屋さんでした。彼は馬車の車輪からヒントを得てロータリーのマークを考えました。また例会に歌を持ち込んだことでも有名です。翌年の1906年、ある会員がドナルド・カーターに入会を勧めました。「みんな楽しくやっているのです是非入会して欲しい」と、勧めたところ「あなたがたは、確かに楽しいでしょうが、シカゴの町には多くの失業者、身体障害者といった社会的弱者がいるにも関わらず、彼らに手を差し伸べることをしないで自分達だけが楽しくしているのはエゴである。そのような仲間にはなりたくはない。」と、入会を断りました。それを聞いたポール・ハリスはクラブの目的に社会奉仕を加え、そのことを聞いたドナルド・カーターは快く入会しました。1908年ハリー・ラグルスの紹介でロータリーの発展に大きな貢献をした2人が入会しました。そのひとりには32年間事務総長としてロータリーの拡大、管理、運営に手腕を発揮したチェスレー・ペリー。もう一人は職業奉仕の元祖ともいべきアーサー・シェルドンです。シェルドンはロータリーの精神骨格ともいべき vocational service をロータリーに持ち込みました。その後、1917年、当時のRI会長アーチ・クランプの提案によりロータリー財団の前身のロータリー基金が設立されました。ロータリー基金が設立されたこの1917年はどのような年であったかと申し上げますと、1914年から始まった第一次世界大戦にアメリカが参戦した年です。また、メルビン・ジョーンズによってライオンズクラブが設立された年でもあります。そして、設立されたばかりのライオンズクラブは、戦争で犠牲になった人々のために大変活発に人道的支援をしました。当時のロータリアンもそのような人道的支援をしなければならないという強い思いがあったのですが、もっと大切なことは、このような戦争、紛争ができるだけ起こらないように努力すべきだと考えた。そのためには、国と国、民族と民族、お互いが理解を深めることが大切である。それには、まず教育に力を入れるべきである。教育を施すことによってお互いの理解を深め、争いを少しでも減らせるのではないかという考えに至ったのです。ロータリー財団は設立されたが寄付金が集まらず資金不足に悩んでおりました。そして、1947年ポール・ハリスが亡くなりました。彼は、生前「私の葬式には花は入れません。もし、花を買って下さるお金があるならば、そのお金をロータリー財団へ寄付して欲しい」と言い残していました。ロータリー財団は、彼の死を偲んでポール・ハリス記念基金を世界に呼びかけました。そして、翌年の7月までに130万ドルが、世界のロータリアンからポール・ハリス記念基金として送られてきました。そのお金をもとに、初めて18名の国際親善奨学生を派遣する事ができたのです。アーチ・クランプの夢がやっと叶ったのです。このプログラムが始まって70年近くなりますが、この間に派遣された国際親善奨学生は4万人を超えます。これは、民間奨学制度では世界最大です。



親睦と相互扶助で始まったロータリークラブは、ドナルド・カーターの入会をきっかけに社会奉仕、アーサー・シェルドンが入会し職業奉仕、アーチ・クランフの提案で国際奉仕へと発展したのです。

日本におけるロータリーの普及

1917年米山梅吉は政府の財政調査団員として訪米、テキサス州ダラスで福島喜三次と運命的な出会いをする。福島はダラスRCのメンバーで米山梅吉にRCの理念を説き語った。梅吉はロータリーの理念に感動し、1920年東京ロータリークラブを設立した。初代会長には米山梅吉、幹事に福島喜三次が選出された。

しかし、設立されたものの例会は月に一度程度しか開かれず出席率も低かったようです。せっかくできたが存続が危ぶまれていました。当時の日本を振り返ってみると長い封建鎖国の時代から明治維新を経て大正時代、大正デモクラシーと言われていましたが、それはうわべだけで組織運営、精神的にも封建的でした。そこへロータリークラブの万民平等、そして友情を重んじるクラブの運営、といった考え方が日本社会に受け入れられにくかったようです。ロータリー活動に関心が薄く、出席率も低い東京クラブがロータリーの素晴らしさを認識させることになったのは皮肉にも関東大震災であった。1923年9月1日に起こった関東大震災に対して、当時のガイ・ガンディガーRI会長からお見舞いの電報とともに25,000ドルの義援金が送られてきた。そしてそのことが呼び水となり世界17か国、503のロータリークラブからも義援金や救援物資が届けられた。義援金総額は89,000ドルに及んだ。今のお金にすると数億円にもなる金額です。東京ロータリークラブはこの義援金を元に人道的な支援を幅広く行った。このような義援金が送られてきたことが一般の人は勿論、ロータリアンですら驚いたとともにロータリーとはなんと素晴らしい世界的な集団であるということが認知されるきっかけとなった。東京ロータリークラブの会員は奉仕の喜びを身を持って体験し、それまで月1回しか開催されなかった例会を毎週水曜日に開催することになった。そして、このことがきっかけとなり、その後の日本でのロータリークラブの発展、拡大に繋がった。

ロータリー情報集会 ザ ガーデンオリエンタル大阪 9.13. Wed

